



給食 津田仙と梅子献立

今日は、涼しくて過ごしやすいですね。ようやく秋が近づいてきたようです。

本日の給食は、津田仙・梅子献立です。津田仙も津田梅子も佐倉市ゆかりの人物です。子どもたちには、佐倉学や給食で馴染みのある人物となり、名前を覚えている子も多いと思います。

津田仙は、西洋野菜を日本に伝えた方なので、西洋野菜たっぷりの献立となりました。



9月19日の献立

ハヤシライス

西洋野菜のマリネ

フルーツヨーグルト

牛乳

津田仙（つだせん 1837年～1908年）

近代農業の普及・発展に貢献した農学者。佐倉藩士の子として生まれた仙は、慶応3年(1867)に、幕府の訪米使節団に通訳として随行。近代農業などへの関心を強めていきます。帰国後、アスパラガスなどの西洋野菜の栽培や農業雑誌の刊行、私立の農学校設立など、農業の近代化に尽力しました。また、女子教育の発展や、日本初の盲学校などの設立にも携わるなど、日本の教育に多大な貢献をしました。

（出典 千葉県佐倉市公式ウェブサイト 佐倉ゆかりの人物）

津田梅子（つだうめこ 1864年～1929年）

明治の教育家で、女子専門教育の先駆者。佐倉藩出身の農学者津田仙の二女として江戸で生まれ、6歳で日本初の女子留学生として渡米しています。華族女学校に奉職し、再度渡米した後、現在の津田塾大学の前身、女子英学塾を開きました。

（出典 千葉県佐倉市公式ウェブサイト 佐倉ゆかりの人物）

栄養士 より

津田仙や津田梅子が活躍した明治時代、日本に西洋料理が入ってきました。それを日本風にアレンジした新しい料理が、ハヤシライスやオムレツ、カレー、コロケ、とんかつ、あんぱんなどです。

今日の給食は、明治時代から現代につながる食文化を感じて食べてもらいたくて計画しました。どの学級も暑さに負けず、ニコニコ、もりもり、よく食べてくれました！